allcinema

# 黒いオルフェ（1959）

ORFEU NEGRO
BLACK ORPHEUS

**メディア**　映画
**ジャンル**　ドラマ　ロマンス
**製作国**　フランス
**色彩**　Color
**時間**　107分
**初公開日**　1960/07/07
**公開情報**　東和
**リバイバル**　2000/09/09［ギャガ］

**【解説】**

オルフェウス伝説を描いたレリーフをぶち破って響く、圧倒的音量のサンバにたまげて、即、この素晴らしい音楽劇の虜となってしまった。ひとまずそれが収まって、流れるタイトル・ソングがまた美しい。そのジョビンのボサノヴァを世界に知らしめた映画でもある本作は、ギリシア神話のオルフェとユーリディスの挿話に基づき、ブラジルの詩人ヴィニシウス・デ・モライスが書き下ろした物語を映画化したもので、カルナヴァルに沸くリオを踊り手たちの視点からいきいきと描いて、その地を旅した、いや、それ以上の感慨――彼らと共に唄い踊る夢み心地――に浸らせてくれる。

カルナヴァル見物に田舎から従姉セラフィナを訪ねた美少女ユーリディスは、彼女を乗せた市電の運転手オルフェと、祭りのリハーサルで再会。子供たちから“太陽”と慕われるオルフェには、派手好きなグラマーの婚約者ミラがいたが、ユーリディスの清純な美しさにすっかり参ってしまう。その夜、彼女を従姉宅に送ったオルフェだったが、恋人の水兵シコと睦み合うセラフィナにすっかりあてられて、ユーリディスを抱き寄せると、彼女はそれを待ち受けていたかのように唇をくれた。そして、愛しあって迎えた朝、彼は自作曲をギターで弾き語る（ルイス・ボンファによる『カルナヴァルの朝』）。と、どうだろう、子供たちに約束した通り、その音と共に朝日が上がった。祭は本番。ユーリディスも従姉の好意で、彼女の衣装を着て、ミラの目をごまかしオルフェと共に踊るが、やがてバレてしまい争いが起きる。泣いてその場を逃げ出したユーリディスは、自分に影のようにつきまとっていた死神の装束の男に追い込まれ、事故死。翌朝、その亡骸を抱きかかえ、彼女と恋を語らった高台に来たオルフェは嫉妬に狂ったミラの投げた石を頭に受け、そこから墜落死してしまう。だが、今度は子供たちの中から新たなオルフェの生まれる番。可愛らしい踊りを見せ映画は終る。ムラート（混血児）たちの褐色の肌の輝きを眩しく捉えたキャメラも最高だ。

**【クレジット】**

| | | |
|---|---|---|
| **監督** | マルセル・カミュ | Marcel Camus |
| **製作** | サーシャ・ゴルディン | Sacha Gordine |
| **原作** | ヴィニシウス・デ・モライス | Vinicius de Moraes |
| **脚本** | マルセル・カミュ | Marcel Camus |
| | ジャック・ヴィオ | Jacques Viot |
| **撮影** | ジャン・ブールゴワン | Jean Bourgoin |
| **音楽** | アントニオ・カルロス・ジョビン | Antonio Carlos Jobim |
| | ルイス・ボンファ | Luis Bonf |
| **出演** | ブレノ・メロ | Breno Mello |
| | マルペッサ・ドーン | Marpessa Dawn |
| | ルールデス・デ・オリヴェイラ | Lourdes de Oliveira |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

| | |
|---|---|
| レア・ガルシア | Lea Garcia |
| ファウスト・ゲルゾーニ | Fausto Guerzoni |
| マルセル・カミュ | Marcel Camus |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.